

次の一步への想い

LOVE LETTER #01 ふるさとを語る〔出身者インタビュー〕

帰るたび安心できる 大好きなふるさと

町制施行70周年おめでとうございます！
2つの校歌を今も歌える海田っ子として、
とてもうれしく思います。緑あふれる日浦山に、
白鷺の舞う瀬野川、青く広がる海。
広島市内へのアクセスの良さと豊かな自然が
両立していることが、海田の魅力です。
駅に降り立つたび、ふわりと優しい空気に
包まれ、安心していきます。

気象予報士・防災士

かつまる きょうこ
勝丸 恭子さん

〈プロフィール〉
NHK広島放送局で15年間、
気象キャスターを務めた。毎
春紹介していたのは、JR海田
市駅1番線の桜！現在は、防
災に関する著書の出版や講
演活動などを行っている。



笑顔あふれる町の 魅力を発信したい

町制施行70周年おめでとうございます。
こどもの頃は瀬野川でハゼを釣り、日浦山で
ターザンごっこ。豊かな自然の中で、毎日泥んこに
なって遊んでいました。懐かしいなあー(笑)。
自然と町が調和した、魅力いっぱいの海田。
これからも、ひまわりのような笑顔あふれる
この町の魅力を、微力ながら発信して
いきたいと思っています。

広島ローカルタレント

おおまつ
大松 しんじさん

〈プロフィール〉
1971年生まれ。広島の夕方
情報番組のリポーターとして
タレント活動を開始。以来、
テレビ、ラジオ、CMなどで
幅広く活躍。「大ちゃん」の
愛称で親しまれている。



海田町産100%

生まれも育ちも海田町！海田幼稚園、
海田小学校、海田西中学校、海田高校と、
高校卒業まで海田町から一歩も出なかった私(笑)。
拙著の小説『灯籠』の舞台も海田町でした。
私にとって、かけがえのない大切なふるさとです。
これからも海田町と共にすてきな思い出を
重ねていきたいです。70周年、本当に
おめでとうございます！

タレント・作家

うえむら ちかさん

〈プロフィール〉
「元祖カープ女子」の孫として
多くのメディアに出演するほ
か、観光大使やコメンテーター
としても幅広く活動。11月1日
(日)開催の「KAITAFUL
FES.」ではMCを務める。



支えてくれた町に 挑戦で恩返しを

海田町は地域の人たちが温かく、豊かな自然を
感じながら、のびのびと暮らせる町です。
スケートボードというスポーツを選び、
プロをめざして一人で練習に励んできた僕にとって、
地域の人たちから声を掛けていただけたことは、
本当に大きな力になりました。海田町に
恩返しができるよう、これからも頑張ります。
この度はおめでとうございます。

プロスケートボーダー

よしおか かずひろ
吉岡 寿大さん

〈プロフィール〉
2010年生まれ。小学2年か
らスケートボードを始め、中学
3年でプロに昇格。令和8年
10月、米国で開催される世
界最大級のアマチュア大会
「Tampa Am」に出場予定。



これからの海田町に、愛を込めて。
このまちを大切に想う皆さんから、ラブレターが届きました。

LOVE LETTER #02 暮らしを語る〔移住者インタビュー〕

私が海田町に魅了され続ける理由

海田町に移住して、最初に感動したの
は、「子育て環境の良さ」。新米ママを優し
く受け入れてくれる窓口があり、困ったとき
にいつでも相談できるのはとても心強かつ
たです。また、驚かれることも多いのが、
PTAがとても楽しかったこと！「楽しいから
やろうよ」という口コミでどんどん人が集
まっていて、「人を温かく迎えて、一緒に盛
り上げる」土壌がある町だと思いました。



私にとって特別な場所である
日浦山や、住宅街そばの瀬野川。
豊かな自然と、都会すぎない利
便性に、「人の温かさ」がそろうこ
の町が一番好き。住んでいてちょ
うどいいこの町を、ぜひ次の世代
にもつないでいきたいです。
(インタビュー全文は70周年特
設サイトに掲載)

70周年
特設サイト
ほかの移住者
インタビューも
掲載中



えつさん
(@etsu.s_y_a) (写真右)

〈プロフィール〉
海田町に移住し、豊かな自然
と温かいコミュニティがある町
のちょうどよさに魅了された。
Instagramで大好きな日浦山
の絶景を発信しながら、山を通
じた出会いの輪を広げている。



LOVE LETTER #03 私の70年を語る〔70歳記念インタビュー〕

海田の発展をこの目で見てきました

瀬野川のすぐ近くに住んでいるので、こ
どもの頃はよく瀬野川で鮎やうなぎを釣
って遊びました。新幹線が走り始め、国道
2号線が4車線になるなど、町の景色が変
わっていくのは、寂しさもありつつ、どんな
風になるのかという期待感の方が大きか
ったですね。

今は消防団副団長の他に、春日神社宮
総代長も務めていて、日頃人と関わるこ



が多いのですが、海田町は本当に良い人が
多い。困っているときは誰かが助けしてくる
ので、自分も何かあれば助けたいと思う。そ
ういうお互い様の精神が根付いていて、改
めて良い町だなと思います。ただ、もっと良
い町になるためには、地域の活性化は欠か
せません。消防団も、ぜひ若い人に入団し
てもらい、みんなで町を良くしていきたいと
思います。



海田町消防団 副団長

いで ひさのり
井手 久則さん

〈プロフィール〉
昭和32年2月生まれ(今年度
70歳)。消防団員として長年活
動を続け、現在は副団長とし
て団員を指導する。夫婦ともに
消防団員。海田町の好きなと
ころは「暮らしやすいところ」。

